

2020

水とともに 夏号

連載 東京オリンピックと大渇水
～オリンピック大会までに、武蔵水路を完成せよ!～
第2話「時間との闘い、武蔵水路の突貫工事」



水とともに

CONTENTS 2020

夏号

Summer

表紙写真 初夏の訪れ

撮影場所：利根大堰(埼玉県行田市)

新緑が芽を出し、空の表情も変わってきました。
利根大堰を越流する水が涼しげです。



3

すい滴

—水は西へ— 近畿文明を生んだ伊賀の水
伊賀市長 岡本 栄

4

連載

東京オリンピックと大湯水

～オリンピック大会までに、武蔵水路を完成せよ！～
第2話 「時間との闘い、武蔵水路の突貫工事」

8

トピックス

みなさまからのご寄附で
一庫ダムにエドヒガンを植樹しました
～水資源機構寄附金 実施報告～

10

水のひろば

岐阜県加茂郡 八百津町

12

連載 気象キャスターが解説！ 天気のみかた

第21回 複合災害への備え

—新型コロナと台風—

気象キャスターネットワーク 岩谷 忠幸

14

新型コロナウイルスに関する機構の対応

命と営み支える水資源機構の使命

16

水機構ニュース

19

本号の主なご紹介施設



3



4



8



10



水は西へー 近畿文明を生んだ伊賀の水

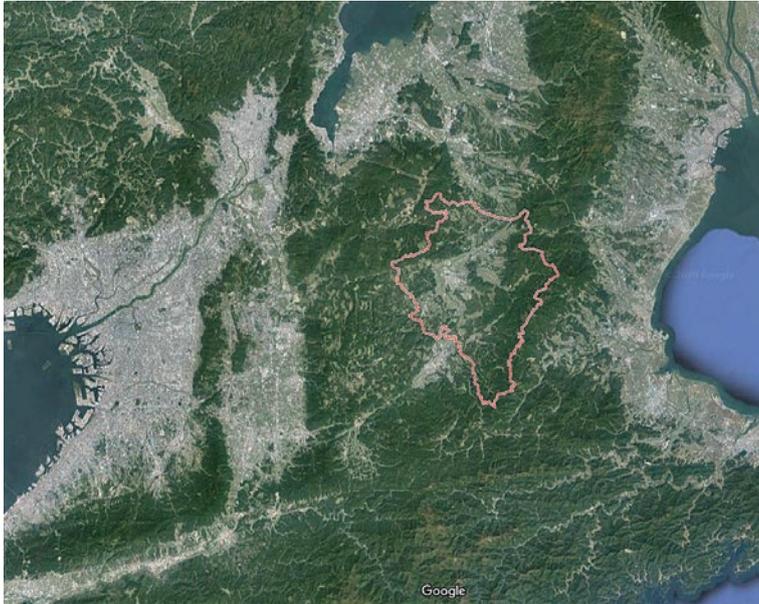
伊賀市長

岡本

栄

冒頭からえらく大層な物言いとなった。世間一般にはなかなか理解いただけの事ではないだろう。

伊賀と聞いて多くの人が思い浮かべるのは、松尾芭蕉も荒木又右衛門もそのけで、今や「忍者」につきるのではないか。伊賀は「忍の国」。海外でも有難いことに想像以上の人気である。「忍者不足で伊賀市は忍者を募集：」全世界にこんなニュースが流れた。



伊賀市位置

が、これは、フエイクニュース。まだ記憶に新しいのではと思う。災禍転福、まあ良い宣伝になったというのが正直なところか。先日NHKのブラタモリで、この伊賀が取り上げられた。曰く、忍者が生まれたのは、この国の地勢に大いに関係するのだと言う。話は今から四百万年前。今の琵琶湖は伊賀に生まれた。地殻変動により湖は北上を続け今日に至る。その痕跡として湖底に堆積した泥岩が一带に残り、風雨に浸食され細かな樹枝状の支谷がたくさん出来た。やがてその谷ごと、人々により農地を巡る争いが生じ生き抜くための技が編み出され蓄積した。すなわち忍の衆であり、忍術の発祥という。恐るべし水の力。
水は想像をはるかに超え、人々の暮らしや文化、地域のあり方まで形造るのである。
琵琶湖は近畿文明の母という。その母を生んだのが伊賀の地勢と水である。
水の流れは自然な形で人と人の絆を深め、地域と地域をしつかり結び、一体としての圏域を纏め上げていく。伊賀の水は淀川となり大阪湾に注ぐ。三重に属することとなつてはいるものの、伊勢湾側とは山塊を隔て水界を異にし、繋がりは薄い。ことば・歴史・文化・経済、どれも古来奈良や京都大阪との交流の中に育まれてきた。今、伊賀は、京都府の南山城村、笠置町、奈良県の山添村と三府



御斎峠から見た伊賀盆地

県にまたがって、定住自立圏として広域行政を行っている。基本コンセプトは「水と歴史で繋がる…」である。水の流れは人の流れ。その流れに沿うことが活力を産む。そしてそれが、地域の未来づくりの確かな水脈ではなからうか。

東京オリンピック と大渇水

～オリンピック大会までに、武蔵水路を完成せよ!～

たか さき てつ ろう
作家・高崎 哲郎



第二話「時間との闘い、武蔵水路の突貫工事」

<序>

「昭和30年代後半は、炎天が続いて雨が降らずダムは溜れあがって、<東京砂漠>などとジャーナリズムに報じられました。世紀の祭典・東京オリンピック大会を直前にして、東京都副知事である私にできることは、埼玉県に出向いて利根川の水を東京に流してくださいと、七重の膝を八重に折って、ひたすらお願いするだけでした。首都東京はパニック状態でした」(鈴木俊一元東京都知事)。

「悪臭を放つドブ川の隅田川を、オリンピックまでに世界に誇れる<東京の顔>に蘇生させよ。死んだ川を外国選手たちに見られて、お前たちは恥ずかしくないのかね」。<世界に誇れる大会実現!>を掲げる河野一郎オリンピック特命担当大臣は官僚たちを前に声を荒げた。

「利根導水事業・閣議決定」

関東平野の三大河川は利根川・荒川・多摩川である。従来、東京都は主として多摩川に水源を依存してきた。だが集水域が狭いため供給量が少なく、荒川も水量の変化が激しいことから、人口の急激な膨張に伴う多量の取水には不十分な状況となっていた。それに長引く干ばつが追い打ちをかけた。東京オリンピック大会が目前の昭和39年(1964)10月10日に迫っている。

そこで政府は、利根川最上流部、群馬県内のダム群で生み出された豊富な水を東京都・埼玉県へ供給する総合的な水資源開発を構想した。それが利根導水路計画である。事業の中核が

東京オリンピックと大渇水～オリンピック大会までに、武蔵水路を完成せよ!～

埼玉県の大地を2分する武蔵水路であった。昭和38年(1963)3月、利根導水路を柱とする「利根川水系における水資源開発基本計画」がようやく閣議決定された。関係各省や地元埼玉県などの不満はくすぶったままであった。

閣議決定の骨子は以下の通りである。

一、名称：利根導水路建設事業

(この事業は利根川中流部の取水施設、この地点から荒川中流部までの水路(武蔵水路)および既存水利施設への連絡水路、荒川中流部における取水施設から東京都水道事業の新設予定浄水場までの導水施設を設置するものであって、東京都および埼玉県の上水道用水および工業用水を導入するとともに農業用水等の取水の安定および利用の合理化を図ることを目的とする。)

二、事業主体：水資源開発公団(現水資源機構)

三、河川名：利根川本川

四、取水量：農業用水毎秒86.96立方メートル、東京都および埼玉県の上水道用水および工業用水毎秒20立方メートル

五、予定工期：昭和37年度から昭和42年度まで、ただし可及的すみやかに一部施設を利用して導水を可能ならしめるものとする。

六、その他：(一部省略)、総事業費約175億円

閣議決定に際し、池田勇人首相が特に発言した。「東京都の水道工事向け起債枠を昭和38年度は100億円から200億円へと倍増し、利根導水路・金町浄水場の完成見込みを昭和40年から明年(39年)6月ないし7月までに繰り上げたい」

池田首相は、閣議後「東京の水飢饉は全く異常である。東京オリンピックを目前にして、この問題はぜひとも解決すべき問題である。起債枠の倍増は当然と考える。オリンピックには1日20万立方メートルの水が必要なのである」と記者団に解説した。



武蔵水路位置(水資源機構資料より)

「対立と妥協」

閣議決定という政府の決断が下された。が、それでも所管大臣については各省が対立を続けた。治水を大前提とする建設省(以下省庁名はすべて当時)と、利水優先をとる農林、通産、厚生^{あだち あさか}の3省が対立したまま譲らなかった。折衷案として当面は、利根川取水施設は建設・農林両省の所管、荒川取水施設は通産・厚生両省の所管、農業用水路は農林省の所管、荒川連絡水路は建設省の所管、水道施設は厚生省の所管ということで落ち着いた。

未解決の問題がなお山積していた。東京都水道局は、荒川の利根導水路から導かれた水を浄化する浄水場を荒川流域の埼玉県足立郡朝霞町(当時)に建設することを計画し候補地の選定に入った。だが、田畑や雑木林の広がる田園地帯は、突然降ってわいた浄水場建設問題に振り回されだす。住民たちは「建設絶対反対」を打ち出した。対立は行政対地元住民だけではなかった。早期着工にこぎつけたい水資源開発公団と東京都水道局との不協和音もあった。

昭和39年、オリンピック大会の年を迎えた。1月埼玉県^{くり はらひろし}の栗原浩知事は反対を続ける朝霞町の地主たちに会見を求めたが、拒否された。栗原知事は東京都に対して土地収用法の手続きを取るよう要請した。同年2月1日、東龍太郎都知事^{あずまりょうたろう}は土地収用法の手続きを取った。この強硬な対応に危機感を持った朝霞町の地主たちは、用地買収価格の最高額を適用することを条件に話し合いに応じる姿勢を示した。東京都は土地収用法の適用を中止した。最悪の事態は回避された。2月24日、用地売買契約書が交換された。用地買収は約1か月余りという異例の早さだった。



政府はオリンピック大会を「戦災から見事に復興し、世界に誇れる文化都市<日本の顔>東京」をスローガンに掲げ、巨費を投じて着々と準備を進めた。東名・名神・首都の各高速道路、東海道新幹線をはじめ、地下鉄、羽田モノレールなど首都圏のインフラや交通網の大改造を推進した。急ピッチの大規模工事が昼夜兼行で都内で進められ、ダンプトラックの列が砂ほこりを巻き上げて都心を走った。

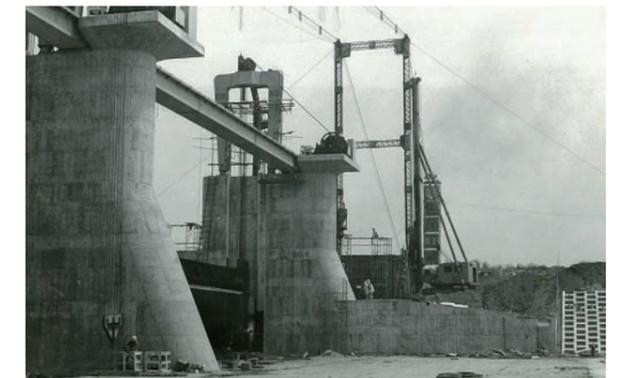
河野一郎特命担当大臣を最高責任者として、「世紀の祭典」成功に向けて「1日も早く利根川から水を引く水路の掘削を!」と、政府関係省庁による緊急対策会議が連日のように開かれた。

「武蔵水路、突貫工事始まる」

利根導水路工事は、閣議決定を待っていたかのように昭和38年春から水資源開発公団の現場事務所が開設された。計画では、同導水路事業は東京都と埼玉県に都市用水を供給するだけではない。利根川中流部の洪水防止や約2万9000ヘクタールの広大な農地(埼玉・群馬両県)にかんがい用水を安定的に供給し、さらには隅田川浄化にも役立てようとする総合プロジェクトであった。同導水路事業は事実上見切り発車の形で、まず秋ヶ瀬取水堰^{あきがせしゅ}の建設工事から始まった。早期完成を目指して、昼夜兼行の突貫工事に入った。



武蔵水路の工事風景(水資源機構資料より)



秋ヶ瀬取水堰の工事風景(水資源機構資料より)

昭和39年2月、武蔵水路の起工式^{こうのす}が鴻巣市内で行われた。河野大臣の厳命もあり、武蔵水路開削に難色を示す埼玉県を押し切って突貫工事に入った。同水路は、利根川と荒川の間総延長14.5キロを結ぶもので、水路の標準断面は幅16.7メートル、深さ2.5メートルである。掘削工事を数キロメートルごとに8工区に区切って同時進行を進めるといふ異例の土木事業であった。各工区には1000人を超える作業員が24時間体制で張り付いた。底なしの軟弱地盤や関東ローム層と闘い、農業用水路や河川、鉄道などが網の目のように交差する地点では、サイホン^{*}の原理を応用して河川や従来の施設などをくぐり抜ける難工事が続いた。皮肉なことに、雨が降らないぶんだけ工事が進んだ。

^{*}道路や川の下などに管を通して水を送る仕組みを「サイホン」という。
入口が出口より高い場所にあれば水が流れ出る仕組み。

参考文献: 拙書『砂漠に川ながる、東京大湯水を救った500日』(ダイヤモンド社)、水資源機構資料。
(つづく)

みなさまからのご寄附で 一庫ダムにエドヒガンを 植樹しました

～水資源機構寄附金 実施報告～

はじめに

水資源機構（以下「機構」）では、一庫ダムにおいて、ダムのスローガン「水・人・自然の調和」により、地域に長く親しまれるダムを目指して、周辺の山々に自生するエドヒガンのダム周辺への植樹活動を目的とした寄附金の募集を行いました。エドヒガンは古くから日本に自生してきた野生種の桜であり、ソメイヨシノの母種としても知られています。

ご寄附いただいた皆様におかれましては、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

機構では、いただいた寄附金を活用し、エドヒガンの苗を一庫ダム下流左右岸広場に植樹しましたので、ご報告いたします。

寄附金の受入れ実績

今回の寄附金募集の概要は以下のとおりです。

～水・人・自然の調和を目指す一庫ダム～
一庫ダムエドヒガン植樹プロジェクト

寄附金募集期間 令和元年9月17日～12月20日まで

寄附者 個人103名／法人6団体 金額 **441,110円**

寄附金の活用等

一庫ダムの地元の川西市では桜を市の木としており、なかでもエドヒガンの群生地を市の天然記念物に指定するなど、その保護と育樹活動に力を入れています。能勢電鉄山下駅よりはじまり、一庫ダム、国崎、黒川、妙見山、高代寺山、妙見口駅を経て、山下駅に戻るルートと、このルートから外れますが、エドヒガンの名所として欠かすことのできない猪名川左岸沿いの水明台、溪のさくらは「エドヒガン回廊」として皆様に親しまれています。

ご支援いただいた寄附金は、植樹するエドヒガンの

苗の購入、獣害防止用柵等の購入及び記念銘板の作製等に活用させていただきました。

また、寄附者への限定企画として、令和2年2月29日に予定していた記念植樹式については、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として中止し、前日の2月28日に今回のプロジェクトにご協力いただいている「溪のサクラを守る会」の皆様のご指導、ご協力のもと30本の苗木を、心を込めて植樹しました。また、あわせて予定していた施設見学会の開催については、改めて開催をご案内することとしました。



ご寄附をいただいた皆様へ

今般の寄附金の趣旨にご賛同いただいた皆様に協賛団体（川西市・猪名川町・能勢町・能勢電鉄株式会社）の皆様からご提供いただいた記念品、限定一庫

ダムオリジナルカード、記念コースター等の進呈を行いました。

おわりに

一庫ダム管理所では、エドヒガンの植樹を兵庫県立「人と自然の博物館」、豊能町コピスクラブ、溪のサクラを守る会、能勢電鉄株式会社と協力して実施しております。

取組の趣旨にご賛同いただきご支援いただいた皆様、プロジェクトにご協力いただいた皆様、植樹活動にご協力いただいた皆様、この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。皆様方のご厚意に感謝しつつ、植樹した桜の成長をしっかり見守ってまいりますので、6～8年後頃に花が咲くのを楽しみに、皆様にも一庫ダムに足を運んでいただき、苗木の成長の様子をご覧いただければと考えております。





蘇水峡川まつり
(提供:八百津町観光協会)

岐阜県加茂郡 八百津町



(提供:八百津町観光協会)

八百津町全景(手前に人道の丘公園・杉原千畝記念館)

八百津町の紹介

八百津町は、岐阜県の東南部に位置し、人口は約1万1千人、総面積128.79km²、地勢は北側に飛騨川、南には木曾川が流れています。本町は、古くは木曾木材などの舟運の川湊として栄え、江戸時代は尾張徳川藩に属し、藩の木材奉行所が設けられるなど、湊を中心に栄えてきましたが、木曾川の改修や水力発電ダムの建設などにより舟運の歴史は1939年に終焉を迎えました。

八百津町には、第2次世界大戦中ナチスドイツによる大量虐殺から多くのユダヤ避難民らを救った、本町出身の外交官「杉原千畝」を顕彰した施設の人道の丘公園と杉原千畝記念館があります。この施設を通して世界中に平和、命の大切さ、人権などを広く発信しています。また、町内には、五宝滝、めい想の森公園、蘇水峡など自然豊かな八百津町ならではの景勝地などがあります。



(提供:八百津町観光協会)

杉原千畝像と杉原千畝記念館



(提供:八百津町観光協会)

蘇水峡

八百津町の水道

八百津町の水道事業は、1954年の創設以来、人口の変移や給水区域の拡大に伴い、6度にわたる拡張・変更を重ねながら、町民の皆様へ安心安全な水道水を供給してきました。2017年には簡易水道事業と八百津町水道事業を統合し一体経営体制としました。さらに、2019年には水道事業の一層の安定的継続を目指し、水道ビジョン及び経営戦略を策定しました。

2015年に供用開始をした木曾川右岸施設の上飯田調整池(水資源機構管理)から取水する上飯田浄水場をはじめ、木野浄水場、久田見浄水場、潮南浄水場の町内4か所の浄水場を起点とし、17か所の配水池、7か所のポンプ場を稼働させ、日々安定供給に努めています。その積み重ねにより、八百津町における水道の普及率はほぼ100%



上飯田調整池と上飯田浄水場

に達し、拡張から維持管理の時代へと移行しています。ただし、近年は、人口減少などに伴う給水収益の低迷、水道施設の耐震化や老朽化対策への投資の増大など水道事業を取り巻く環境が大きく変化しており、高度化、多様化する課題への取り組みが求められています。

舟運で栄えた町のお祭り

八百津町には大きなお祭りとして「八百津だんじり祭り」「久田見糸きりからくり祭り」「蘇水峡川まつり」の3つがあります。



(提供:八百津町観光協会)

だんじり祭り

その中でも舟運で栄えた町ならではの祭りとして、春に開催される「八百津だんじり祭り」と、夏に開催される「蘇水峡川まつり」があります。「八百津だんじり祭り」は、元禄年間に始まったお祭りで、そのだんじりは重量がおよそ4トンにも及ぶ船を模った3輻の巨大なもので、大きなかけ声とともに町中を曳きまわされ、威勢がいいことから別名「けんか祭り」とも呼ばれています。「蘇水峡川まつり」は、八百津町の盛夏の風物詩で、木曾川の歴史をはぐくみながら開催されてきた歴史あるお祭りです。提灯で飾り付けられた「まきわら舟」、ほのかな灯りの「万灯流し」が川面を幻想的に照らし、夜空では花火が大輪を咲かせ、谷間には迫力ある音が響きわたります。いずれのお祭りも、木曾川の舟運で栄えたこの辺りの特徴を色濃く残す伝統的なお祭りです。



(提供:八百津町観光協会)

蘇水峡川まつり

気象キャスターが解説！
 天気のみかた
 連載 第21回
 複合災害への備え
 — 新型コロナと台風 —

気象キャスター
 ネットワーク



ちくまがわ
 2019年台風19号による千曲川の氾濫
 (出典:国土地理院)

✪ 新型コロナも災害の一つ

新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」)の感染拡大により、多くの人命が奪われ、経済的な影響も深刻となっています。災害対策基本法において、災害とは地震、火山噴火のほか、台風などの気象災害を指しますが、新型コロナも人間に影響を及ぼし、事象自体を制御できていないという点から、災害の一つといえるでしょう。

新型コロナは台風災害と比較して、より広範囲

かつ長期的な影響を及ぼします。新型コロナは感染力が強く、世界的な広がりとなっているほか、有効なワクチンや治療薬の開発等に時間がかかるため、終息するまでには1~2年かかるといわれています。そのため、新型コロナが流行している中で、台風や大雨シーズンを迎えることとなり、新型コロナと気象災害の複合災害に備える必要があります。

	新型コロナ	台風
被害	健康被害や経済的打撃	人命と財産を奪う
影響範囲	全世界的	数百km~千km程度(関東地方など)
影響期間	数ヶ月~2年(?)	1日~数日間
危険な場所	3密環境(密閉・密集・密接)	低地や河川、崖の近くなど
情報	緊急事態宣言	特別警報
予測	数週間先の感染者数傾向を予測	数日前から進路や強さを予測
対策	自宅に留まること(感染者は病院やホテル)	避難所や自宅など安全な場所

新型コロナと台風災害の比較

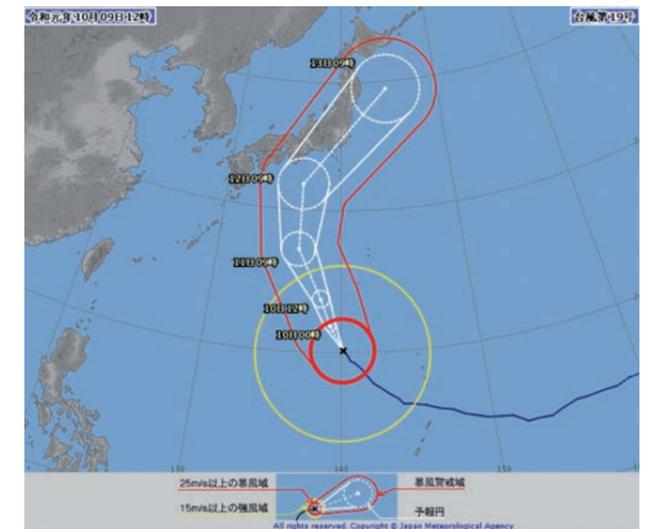
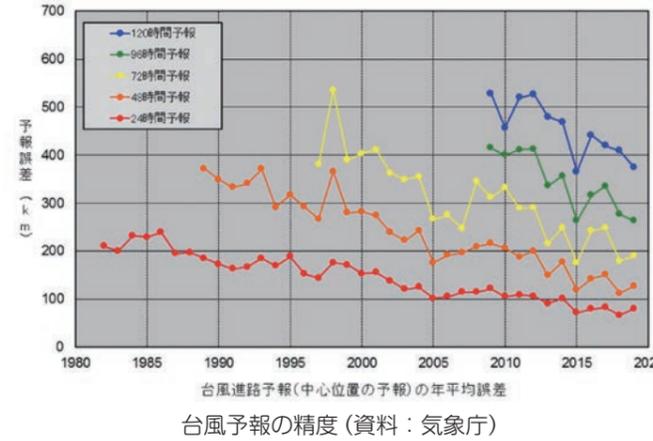
✪ 甚大化する気象災害

近年、甚大な気象災害が相次いでおり、一昨年の「西日本豪雨」に続き、昨年も「令和元年東日本台風」(2019年台風19号)で記録的な大雨が降りました。千曲川や阿武隈川など大きな河川が氾濫し、100名以上が犠牲になりました。一方、台風19号接近時に、気象庁は上陸5日前に「全国的に暴風や災害級の大雨」のおそれがあると情報を発表したほか、3日前に緊急記者会見を開くなど、早い段

階から避難を促す的確な情報を発表しました。

その背景にあるのは予報精度の向上であり、台風進路の3日予報の誤差は20年前の半分(約200km)となり、5日予報も20年前の3日予報と同程度の誤差と小さくなっています。さらに、今年9月からは、台風発生前の熱帯低気圧の段階で、5日先までの進路や強さを発表する予定となっており、一段と改善が図られます。ただ、精度が高い

情報であっても必ずしも避難行動に結びついておらず、逃げ遅れて犠牲になる人が多いのが課題で、情報伝達の改善が検討されているところです。



✪ 新型コロナ流行時は分散避難

気象災害に対する避難は必ずしも自治体が指定する避難所に行くことではありませんが、土砂災害や河川氾濫など災害リスクが高い地域に住んでいる人は、早めに安全な場所へ避難することが命を守るために必要です。しかし、避難所はまさに密閉、密集、密接の「3密」環境であり、感染リスクが高いため、避難所運営が難しくなります。避難した方の間隔を空けるなどの配置や収容人数の制限、そのほか、テントや車中避難、知人宅など分散した避難が必要になるものと思われます。発熱するなど感染症の疑いのある方に対してはどのように対応するのかなど、避難所の運営方法も事前に検討しておく必要があります。

これまでも台風接近などで甚大な災害が予想される場合に備え、いつどこへ、何をもって避難するかなどを、市民自らが考えるマイタイムラインの作成を進めてきましたが、今年は新型コロナを想定に加えた内容が必要です。国や自治体、気象予報士は、新型コロナ対応の避難所準備に時間がかかることも考慮し、これまで以上に時間的猶予をもって、的確な気象情報や避難情報を提供するとともに、日頃から新型コロナと台風等の複合災害への備えを呼びかける必要があると考えています。

マイタイムライン

3日前	台風予報 警戒レベル2 大雨・洪水注意報	台風情報の確認 非常持出品の準備 新型コロナ対応のためのマスク等の準備
半日前	警戒レベル3 大雨・洪水警報 はん濫警戒情報 避難準備・高齢者等避難開始	ハザードマップで避難所を確認! 川の水位をインターネットで確認
5時間前	警戒レベル4 土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 避難勧告、避難指示	避難所(知人宅)への開始を判断
3時間前	警戒レベル5 大雨特別警報 はん濫発生情報	避難を完了 (人との距離を保つなど、感染防止対策)
災害発生		

複合災害を考慮したマイタイムライン

いわ や ただ ゆき
岩谷 忠幸 Profile

気象予報士、防災士
 東京都立大学 理学部 地理学科 気候学専攻を卒業後、民間気象会社にて気象解説を担当。気象予報士制度がスタートした年から気象キャスターとなり、フジテレビや日本テレビに約15年間出演。現在は日本テレビの気象デスク担当。国や自治体にて防災や気候変動などの委員を歴任したほか、JICA 専門員としてミャンマーの気象キャスター支援。著書に「山岳気象入門」(山と溪谷社)、監修に「プロが教える気象・天気図のすべてがわかる本」(ナツメ社)。

水 インフラを支える水資源機構では、水の安定・安全供給に支障が生じないよう、各事務所に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、必要な対策に取り組んでまいりました。

今後とも、有事における責任と事業継続の重要性を自覚し、感染症予防のための意識・行動を徹底していくとともに、引き続き安定的な水の供給を実施し、皆様の暮らしを支えてまいります。

1 働き方の大幅な見直し — 職員の感染予防の徹底 —

- 感染者が発生したとしても、濃厚接触とならない職員を確実に確保するための複数班体制による交代勤務を実施
- 勤務時における感染の防止（時差出勤、在宅勤務の実施、出張を伴う会議等の制限）
- 職員の体調管理の徹底（毎日、全職員が各自で体調確認を行い、風邪等の症状がある場合は出勤停止）
- 飛沫感染、接触感染の防止（職員のマスク着用、手指の消毒、咳エチケット、手洗い・うがいの徹底）
- 3密（密閉・密集・密接）の防止（事業所内会議室を勤務スペースに利用、会議を減らすとともに、会議参加人数の制限や配席位置の工夫等）

4 その他、もう一工夫



一庫ダム管理所

各座席を仕切り板で区切り、飛沫感染を防止



草木ダム管理所

受注者との打ち合わせを玄関先で実施（第三者を執務室に入れない工夫）

2 ダム・水路などへの 来訪自粛のお願い

3密を避けるため機構施設（ダム・水路など）の利用自粛を呼び掛けたほか、全事業所で以下の取り組みを実施。

- 不特定多数の方が利用される学習交流施設、資料館の休館
- 機構が主催するイベントの中止（延期）
- エレベータや駐車場など、一般開放しており不特定多数の方が利用される場所の開放休止
- ダムカード等の配布休止

3 工事・業務の一時中止等 適切な措置を実施

- 既契約の工事及び業務については、受注者の申し出に応じ一時中止や工期又は履行期間の延長、設計図書の変更等適切な措置を実施
- 入札手続中及び今後公告する工事及び業務については、申請資料等の提出期限等の延長など、柔軟に対応
- 検査や打ち合わせは可能な限りオンラインで実施
- 支払い等の手続きの簡素化・迅速化（一時中止等を実施する受注者に対し、資金繰りが逼迫することのないよう適切に支払い）
- 感染拡大防止を図るため受注業者が柔軟な対応を行った場合、成績評定で適切に評価

— 事業所独自の取り組み等 —



琵琶湖開発総合管理所

各課及び各管理所間の資料受け渡しは引き渡しBOXにて。その他、班ごとに使用する公用車を割り振り、感染予防を実施



群馬用水管理所

コロナウイルスの影響で暗くなりがちな気持ちを少しでも明るくするため、執務室内に花を飾りつけ（花の産地はもちろん群馬県）

#手を洗おう
キャンペーン
の推進



水がしっかりたまったダムの写真とともに、感染症予防の基本である「手洗い・うがい」を推奨（Twitter、Facebookを利用した広報）

利根川
水系

●沼田総合管理所（群馬県）
奈良俣ダムでダム再生事業に着手！

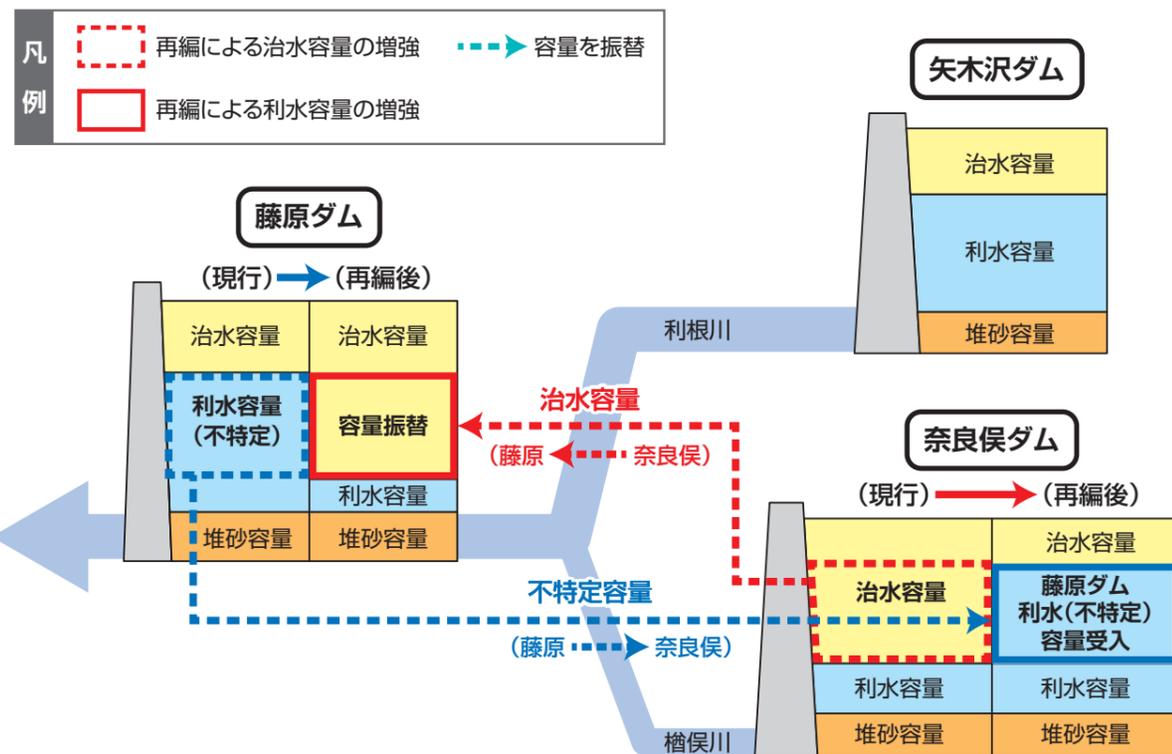
水資源機構は、国土交通大臣から、令和2年3月16日に「藤原・奈良俣再編ダム再生事業（奈良俣ダム関係）に関する事業実施計画」の認可、同年4月1日に事業承継を受け、同日付けで沼田総合管理所に「奈良俣ダム再生事業推進室」を設置し、奈良俣ダムの再生事業に着手しました。予定工期は令和2年度から4年度までの3カ年です。

本事業は、「利根川水系利根川・江戸川河川整備計画（平成29年9月変更）」に位置づけられ、既存施設の治水機能増強を目的として、貯水規模を増加させることなく、奈良俣ダムの洪水調節容量と藤原ダムの利水容量それぞれ239万 m^3 の容量振替を行うものです。この容量振替に伴い、奈良俣ダムでは、洪水放流設備改築を行います。

※奈良俣ダムは、平成3年より水資源機構が管理するダムで、利根川の治水と群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都の利水を目的に建設された多目的ダムです。



奈良俣ダム



藤原ダム・奈良俣ダムの再編のイメージ

淀川
水系

●川上ダム建設所（三重県）
川上ダム堤体コンクリート打設10万立方メートル達成！！

令和2年2月4日に川上ダムの堤体コンクリート打設量が10万立方メートルに達しました。この日は、ダム工事関係者が打設現場に集まり、万歳三唱でお祝いしました。

令和元年9月20日に堤体コンクリートの打設を開始して以降、4ヶ月ほどでの達成です。ダムも少しずつですが大きくなり、高さも20mを超え、ダム工事現場展望台“観眺台”からみるとダムの形も少し分かるようになってきました。

今後もコンクリート打設を重ね、来年の春には堤体積45万立方メートル、高さ84mのダムの姿をご覧いただけます。現在の工事では、上下流方向の約50m、幅15mを1ブロックとして、高さ1.5mずつ打設しています。1ブロックで約1,000立方メートル以上のコンクリート打設を行っており、これは、25mプール2杯分に相当します。場所にもよりますが、1ブロックの打設は20時間かかるところもあります。1ブロックの打設が完了すれば、打設準備の完了している次のブロックの打設に取り掛かります。こうした打設作業を日曜日を除いて毎日昼夜連続して行っています。

ダム完成に向けてこれからも安全第一に施工を進めてまいりますので、地域の皆さまには今年度も引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



10万立方メートルを記念して万歳三唱



ダム工事関係者で記念撮影

ミス日本「水の天使」が水資源機構を表敬訪問されました！

2020ミス日本コンテストのファイナリストで、「水の天使」の栄冠に輝いた中村真優さんが、令和2年2月18日、水資源機構本社を訪れ、金尾理事長と日置副理事長を表敬され、水の天使就任の抱負などをお話しされました。

中村さんは、高校生の時にドイツへ留学されており、そこで難民支援のNPO活動に従事した経験から、現在は、自らNPO団体を立ち上げ、子どもの教育支援活動を行っているとのこと、大変行動力がある活動家でもあります。今後、日本全国で開催される水に関するイベントを通じ、水の広報官として、人々の水への意識を高めてくれることでしょう。



利根川 水系

●利根導水総合事業所

進藤総務大臣政務官が利根大堰等を視察されました

令和2年2月26日、総務省の進藤^{しんどうがねひこ}金日子大臣政務官及び担当官が、利根大堰を初めとする利根導水施設を視察されるとともに、水資源機構本社にて役員と意見交換を行いました。

東京オリンピック・パラリンピックに向け、水需要の増大や極端な雪不足に起因する水不足が懸念される中、総務省は独立行政法人制度の所管官庁であるため、今般、首都圏の水供給における主要施設である利根導水施設を視察されることとなったものです。

進藤大臣政務官は、利根大堰、見沼代用水路等を現地視察され、機構が行っている施設管理の状況について説明を受けられました。また、機構役員との意見交換では、機構は技術者集団としてしっかり対応されているので、引き続き技術の継承や活用を進めてほしいとの助言をいただきました。

機構としては、進藤大臣政務官のご助言を踏まえつつ、引き続き、首都圏の水を支える施設群を適切に管理するとともに、首都圏直下地震に備えるべく平成26年度から着手している「利根導水路大規模地震対策事業」の着実な推進に努めていく所存です。



利根大堰視察の様子



機構役員との意見交換の様子

新規採用職員入社～新しい仲間が増えました～

今年度は50人(うち女性14人)の新規採用職員が入社し、職場にフレッシュな仲間が増えました。

例年、入社式は水資源機構本社で行っていますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため、本社での入社式を中止し、職員はそれぞれ配属先に直接着任し、各配属先で辞令交付を受けました。



辞令交付(木曾川用水総合管理所)

また、入社後の研修については、後日、Web方式により理事長からの講話を聴講後、引き続き研修の一部を本社からWebで配信したほか、各事務所で個別に実施するなど、例年とは異なった対応となりましたが、例年同様、緊張した面持ちで研修に臨んでいました。

それぞれの配属先での業務を通じ、徐々にではありますが社会に貢献する人材として成長して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



着任挨拶(利根導水総合事業所)

本号の主なご紹介施設

表紙
P18

埼玉県:利根大堰

水機構ニュース

進藤総務大臣政務官が利根大堰を視察されました

P16

群馬県:奈良俣ダム

水機構ニュース

奈良俣ダムでダム再生事業に着手!

兵庫県:一庫ダム

P8

トピックス

みなさまからのご寄附で一庫ダムに
エドヒガンを植樹しました

～水資源機構寄附金 実施報告～

埼玉県



利根大堰【利根川水系】

連絡先 利根導水総合事業所

〒361-0004 埼玉県行田市大字須加字船川14369

TEL: (048) 557-1501

H P: <https://www.water.go.jp/kanto/tone/index.html>



兵庫県



一庫ダム【淀川水系】

連絡先 一庫ダム管理所

〒666-0153 兵庫県川西市一庫字唐松4-1

TEL: (072) 794-6671

H P: <https://www.water.go.jp/kansai/hitokura/index.html>



群馬県



奈良俣ダム【利根川水系】

連絡先 沼田総合管理所

〒378-0051 群馬県沼田市上原町1682

TEL: (0278) 24-5711

H P: <https://www.water.go.jp/kanto/numata/index.html>



編集後記

異例づくめの春。そのとき広報課では・・・

新型コロナの影響で本社では現在(5月)4班体制を取っているため、週のほとんどは在宅勤務となりました。自宅PCから社内ネットワークにアクセスし業務を行っています。世界を覆うコロナ禍の中、この危機を支える水の仕事に携わる責任と誇りを改めて感じており、広報活動を通じて発信していきたいと考えているところです。イベントが次々と中止・延期になり、広報の場が少なくなっている今、どのように伝えていか…日々模索しています。

第34回 水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品



優秀賞
東京都知事賞
「打ち水は人気者」
まつやま すずむ
松山 進
東京都中央区銀座

入選
「北山砲で虫送り」
すずき 心みよ
鈴木 文代
三重県熊野市



佳作
「川面を彩るカヌー駅伝」
ちゅうじ みのる
中地 稔
岡山市内旭川

編集・発行 独立行政法人 水資源機構
〒330-6008 さいたま市中央区新都心11番地2
総務部広報課 TEL.048-600-6513 (直通) FAX.048-600-6510

安全で良質な水を安定して安くお届けすること、
それが水資源機構の仕事です

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



ホームページ
<https://www.water.go.jp>



Twitter
https://twitter.com/jwa_pr



Facebook
<https://www.facebook.com/jwaPR>

ISSN 2187-8048